



**ZONTA**  
CLUB OF  
FUKUOKA  
MEMBER OF ZONTA INTERNATIONAL  
EMPOWERING WOMEN  
THROUGH SERVICE & ADVOCACY

# 福岡ゾンタクラブ

## 福岡ゾンタクラブ年間行事報告 (2020.6.1~2021.5.31)

### 2020年

- 6月 5日 役員会  
15日 総会 例会
- 7月 3日 役員会  
20日 例会 規約改定
- 8月 7日 役員会  
17日 例会 委員会からの活動報告
- 9月 4日 役員会  
28日 例会 NPO法人SOS子どもの村 活動報告
- 10月 2日 役員会  
19日 例会 卓話 馬奈木俊介氏 九州大学教授
- 11月 6日 役員会  
16日 例会 委員会からの活動報告  
NPO法人エンパワメント福岡 活動報告
- 12月 4日 役員会  
21日 例会

### 2021年

- 1月 8日 役員会  
18日 例会
- 2月 5日 役員会  
15日 例会 卓話 国際ゾンタ理事 木下彰子氏
- 3月 5日 役員会  
14日 例会 ローズデイ奨学金贈呈式
- 4月 2日 役員会  
19日 例会 NPO法人アジア女性センター活動報告
- 5月 7日 役員会  
17日 例会 (zoom会議)

### 寄付活動

- NPO法人 SOS子どもの村 JAPAN
- NPO法人 エンパワメント福岡
- NPO法人 アジア女性センター
- 福岡ゾンタクラブ奨学金
- 国際ゾンタ
- 国際理事基金

### 第7期 新役員・委員会構成

令和3年(2021年)6月1日～令和4年(2022年)5月31日

会 長	境 貴子
副 会 長	山田 富士子
書 記	石川 弥生 山下 仁子(エレクト)
会 計	野口 尚美 黒木 周子(エレクト)
理 事	納富 輝子 浅野 さとみ 井上 都裳子
監 査	丸岡 恵理
財務プログラム 委 員 会	●鬼武 江三子 ○古林 真由美 小島 泰代 末永 弘子 野口 尚美 黒木 周子
会員委員会	●前田 廣子 ○筒丸 尚子 星子 美恵子 納富 輝子 丸岡 恵理
アドボカシー (政策提言) 委 員 会	●中野 都 ○井上 登裳子 浅野 さとみ 西岡 明美
国 連 広 報 委 員 会	●段上 裕子 ○秋山 喜代 石川 弥生 山下 仁子 加藤 晃子

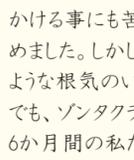
●印委員長 ○副委員長

役員会：第1金曜日 警固神社 19:00～  
定例会：第3月曜日 警固神社 18:30～  
(警固神社：福岡市中央区天神2-2-20)

発 行 日 2021年5月31日  
発行責任者 福岡ゾンタクラブ 会長 境 貴子  
事 務 局 〒819-0013 福岡市西区愛宕浜2-3-9  
マリナタワー2105  
編 集 国連広報委員会 委員長 段上 裕子



会長  
境 貴子



副会長  
山田 富士子

この一年を振り返りますと今期、最初の大イベントのシカゴで開催されるはずだった国際大会、100周年記念が中止となりコロナ禍でいったい、この一年間の計画をどう企て、どのように進めていけば良いのか暗中模索の心境であったこと、そして早速、国際大会で行われるデリゲートがオンラインで投票されることにより様々な資料が次々と送られて来ることに、あたふたとスタートを切ったことを思い出します。

今期の福岡ゾンタクラブの目標は、「各委員会それぞれの仕事とコミュニケーションを深め、ゾンタへの理解と視野を広げる」でしたが我がクラブの二期目の会長であった納富輝子さんがYWPA委員長に就任されましたこともあり、全国で奨学生を探す事と福岡ゾンタクラブでも独自の奨学生を探して行こうという活動も大きな目標に加わりました。初めての取り組みに会員の皆さんで高校生、中学生、教育委員会へ募集をかける事にも苦労いたしました。手分けして対象の学校などに一軒一軒電話をかけること、資料を持って学校に伺う事から始めました。しかし「ゾンタクラブ」はどんな社会奉仕団体なのか？を知って頂くことからの活動は、まさに湿った薪に火をつけていくような根気のいる事だと思えました。毎年、ディナーショーで400人近い方において頂き、ゾンタクラブの活動を伝えているつもりでも、ゾンタクラブの名前すら知らない方の数はこんなにも多いことに直面いたしました。

6か月間の私たちの地道な募集活動がたくさん応募に繋がり、若い学生の皆さんの溢れる応募書類が届いたことは本当に嬉しく又、内容に大変刺激をもらいました。

この福岡ゾンタクラブ奨学金の贈呈式はローズデイのイベントで皆様に披露し、当日は新聞社、テレビ局のマスコミにも取り上げられ、素晴らしい学生の皆さんの活動紹介と私たち福岡ゾンタクラブの広報活動となりました。今期も引き続き若い学生の皆さん方の活動を応援していくつもりです。コロナ禍での活動の難しさは今なお続いていますが、少しでも前に進んで行くための活動を今年も会員の皆さんと楽しく続けていきたいと思えます。これからも福岡ゾンタクラブの活動をご支援ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

今期、副会長に任せられました山田でございます。勢いでお引き受けしたお役目で勉強不足のため、会長をはじめ皆様には様々に教えて頂きながら過ぎていったあつという間の一年でした。

その一年を振り返った時、『私は何の為にここにいるのか』という自問自答を事あるごとにしていた事が思い返されます。今やっている活動の意味、今勉強している事の意味、今起っている出来事、その一つ一つにいつもこの自問自答がありました。私達一人ひとりの力はあまりにも小さく、ニュースなどで目にする悲惨な状況にはただ憂えるばかりですが、ゾンタという組織を通して様々な方と触れ合い活動していく中で、小さな光でも集まれば大きな光となることを改めて実感いたしました。

今期、強く心に残っている事は2つ。一つ目は、3月に開催されたローズデイでの「奨学金贈呈式」。コロナ禍の中、何が私達に出来るのかもがいていた時の一人の提案から始まったこの企画は、短い時間で走りながら考え、想いだけで無我夢中に突っ走って実行に移されました。それがどんなものだったかはここでは割愛しますが、たくさんの副産物を手にした私たちは、更に多くの光を集める為にこれを新規事業としてプロジェクト化し、次に繋げていくことと致しました。もう一つは、日本の50近いクラブを束ねる国際ゾンタ26地区の目標の一つである「ヒトデプロジェクト」。海辺に打ち上げられて苦しんでいるたくさんのヒトデ、目の前の助けを求めている命を、一つずつ救い出して自分らしく生きていける海に返していこう、というこの目標は、私たち福岡ゾンジャンの小さな活動を大きく意味づけしてくれました。この2つの出来事は、あまたある問題の一つずつに寄り添い課題解決のお手伝いをさせて頂いている私達が、あまり変わらないと思える現状を少しずつでも変えていける力になり得ると、そう確信させてくれました。

私達が継続して活動し続けることで、多くの賛同者が増え、それが大きな光になっていくことを心から望んでいます。そして、コロナ禍で苦しむ人々を想う時、自分の無力さを思い知りますが、自分が出来る事を考え実行すると共に、一刻も早い収束と一人でも多くの方が笑顔で暮らせる日がくる事を心よりお祈り申し上げます。





アドボカシー委員会委員長 中野 都

## 2021年 / ローズデイ

新型コロナウイルスの影響を受け、2021年のローズデイは少し形を変えて行われました。クラブ創立5周年の記念も兼ね、事前に日々社会貢献活動に励む若者を県内から募集。選考の結果、7名の学生と1つの団体様に奨学金及び活動支援金をお渡しすることになりました。

そして3月14日(日)、アベニュー天神ビル1階にて、クラブ創立以来初めての試みとなる奨学金贈呈式を開催しました。山田副会長挨拶の後、国際ゾンタ理事・木下彰子様よりお言葉をいただき、毎年続けている3つの団体様への寄付金の贈呈を終え、いよいよ奨学生の発表です。山田副会長より、福岡雙葉高校3年(当時)の滝本華蓮さん始め5名の奨学生に賞状と金一封が贈られ、その他インターアクトクラブさんには社会活動賞が贈られました。来年以降もこの取り組みを続け、次代を担う若者をこれからもどんどん応援していきたいと思っております。



※西日本新聞掲載



※各テレビ局放映

### <例会>

広報委員会 加藤 晃子

## 馬奈木 俊介 教授 講演会



2020年10月19日例会にて、九州大学主幹教授馬奈木俊介氏をお迎えし、「国連目標SDGSとみんなが出来ること」と題して講演会を開催いたしました。

国連の中ではSDGSの実効性を測る指標づくりが必要なこと。GDPでは測れない本当の豊かさの指標として新国富を提唱し、新しい世代に引き継いでいくことの重要性などが語られました。出来る人が出来ることを進めながら同時進行で全ての目標達成に向けて進めていくことが大切だということを改めて考えさせられる会となりました。

### <例会>

書記 石川 弥生

## 国際ゾンタ理事 木下 彰子氏による卓話

2月の定例会では国際ゾンタ理事木下彰子氏をお招きし、国際ゾンタについて詳しくお話をいただきました。国際ゾンタクラブの現在の会員総数、クラブ数、奨学金制度、2022年までの目標、組織構成、木下理事担当の地区など。また、国際ゾンタ26地区の歴史、地区目標、組織構成についてもお話してくださいました。知っているようで知らなかったことも沢山あり、自分たちが所属しているゾンタクラブについて理解を深める良い機会となりました。

2022年までの国際ゾンタ目標と26地区の目標を改めて認識し、コロナ渦だからこそ会員同士の結束を固くし、一人一人が出来ることを地道に続けることが大切だと改めて感じました。お忙しい中、卓話をしてくださった木下理事に改めて感謝申し上げます。



### <例会>

会計 野口 尚美

## NPO法人エンパワメント福岡 活動報告会



2020年11月16日(月)18:30~19:30 福岡ゾンタクラブ寄付先で、シェルター活動等がされている「NPO法人エンパワメント福岡」代表 松崎百合子様より活動報告を伺いました。ジェンダーギャップ指数(日本120位)のこと、コロナ禍の女性や子どもへの影響、今後の課題(女性と子どもの貧困と暴力の防止)など学ぶ機会をいただきました。

### <例会>

広報委員会副委員長 秋山 喜代

## アジア女性センター 活動報告会

環境によって、弱い立場に置かれている人や女性に対するDV防止、経済的貧困改善。また社会で対等な立場に立てない女性が地域の一員として活躍できるように、ジェンダー平等という目標に向けて活動していくとの報告がなされました。



### <例会>

広報委員会委員長 段上 裕子

## SOS子どもの村 活動報告会

2010年開村。家族で暮らす子どもの権利を地域で支え、里親制度を支援、推進されている旨、報告を伺いました。

